

	いっしんいったい 進んだかと思うとあともどりし、よくなったかと思うと悪くなったりすること。
	きしょうてんけつ 詩や文章などの組み立て。
	きゅうてんちょっか ようすが急にかわって、解決へと進むこと。
	さんさんごご こちらに三人、あちらに五人というように、ばらばらにすること。
	じがじさん 自分のしたことや言ったことを自分でほめること。
	せんさばんべつ 多くのものには、それぞれにさまざまなちがひがあるということ。
	そういくふう 新しいものをつくりだそうと、いろいろと考えること。
	にそくさんもん ねだんがひじょうに安いこと。
	にっしんげっぽ ものごとがどんどん進歩すること。
	ふげんじっこう あれこれ言わないで、やるべきことをだまって実行すること。